

2025年3月期第3四半期(4-12月)

決算説明資料

2025年2月13日

KATO

株式会社 加藤製作所

1.セグメント(製造拠点)別状況	P.2
2.業績サマリー	P.3~4
3.連結損益計算書	P.5
4.連結貸借対照表	P.6
5.仕向け地別売上高推移(日本除く)	P.7
6.主要品目別売上高推移	P.8~9
7.主要品目紹介	P.10
8.FY25通期連結業績予想の修正	P.11
9.TOPICS	P.12~13

セグメント(製造拠点)別状況



進化の奥の更なる真価へ

日本

売上高 31,240百万円 営業利益 630百万円

前年同期
売上高 34,997百万円、営業利益 1,755百万円

製造拠点

- 茨城
- 群馬

仕向け地

- 日本
- 米国
- 東南アジア
- 台湾
- 中近東 など

主要製品

- 建設用クレーン
- 油圧ショベル等

TOPICS

- 高価格帯の大型ラフテレーンクレーンの新型車販売の遅延と需要減少の影響を受け前年同期比減収
- 前期に計上していた東南アジア向けの大口販売が今期は発生せず
- 米国向け輸出が大統領選挙前の需要減退を受け縮小

欧州

売上高 3,422百万円 営業利益 43百万円

前年同期
売上高 3,879百万円、営業利益 1百万円

製造拠点

- イタリア

仕向け地

- EU諸国 など

主要製品

- 油圧ショベル等

TOPICS

- 需要減少に伴い減収

中国

売上高 2,152百万円 営業利益 △68百万円

前年同期
売上高 1,489百万円、営業利益 △888百万円

製造拠点

- 昆山
アモイ
- 廈門

仕向け地

- 中国 など

主要製品

- 油圧ショベル等

TOPICS

- 中国での在庫機の販売が進み前年同期比663百万円の増収
- 中国子会社2社の解散・清算に伴う子会社整理損(特別損失)を2Qに計上

連結業績サマリー



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

売上高

36,815

前年同期比
(△8.8%)

営業利益・率

897

前年同期比
(+1.1%)

経常利益

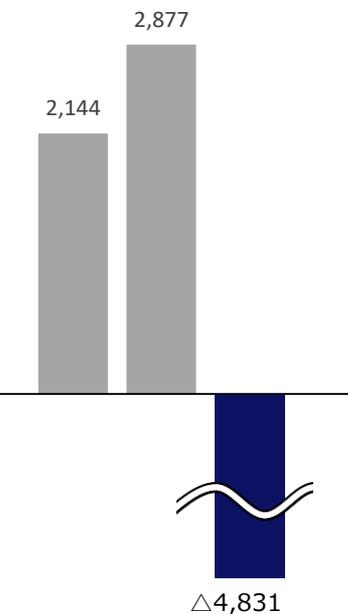
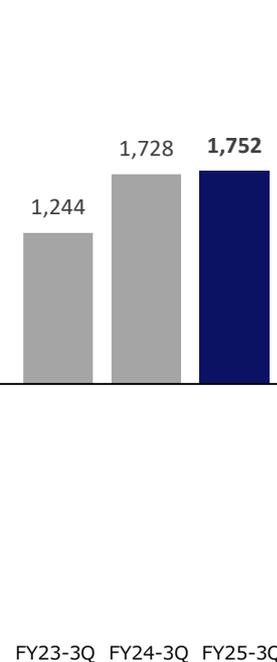
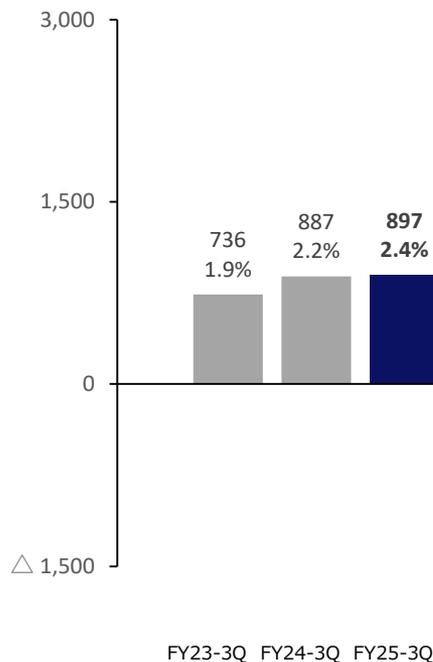
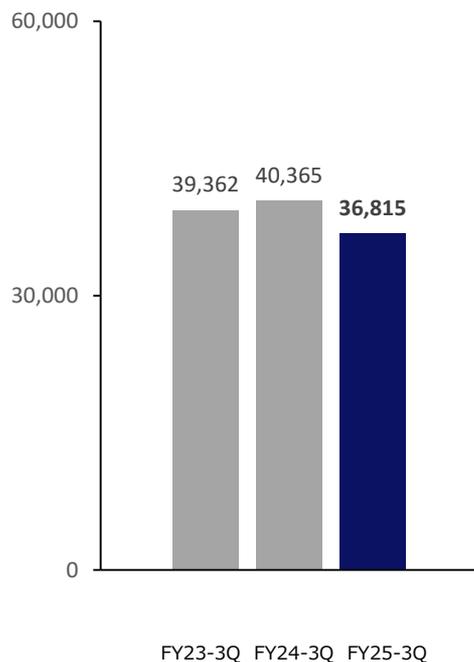
1,752

前年同期比
(+1.4%)

親会社株主
当期純利益

△4,831

前年同期比
(-%)



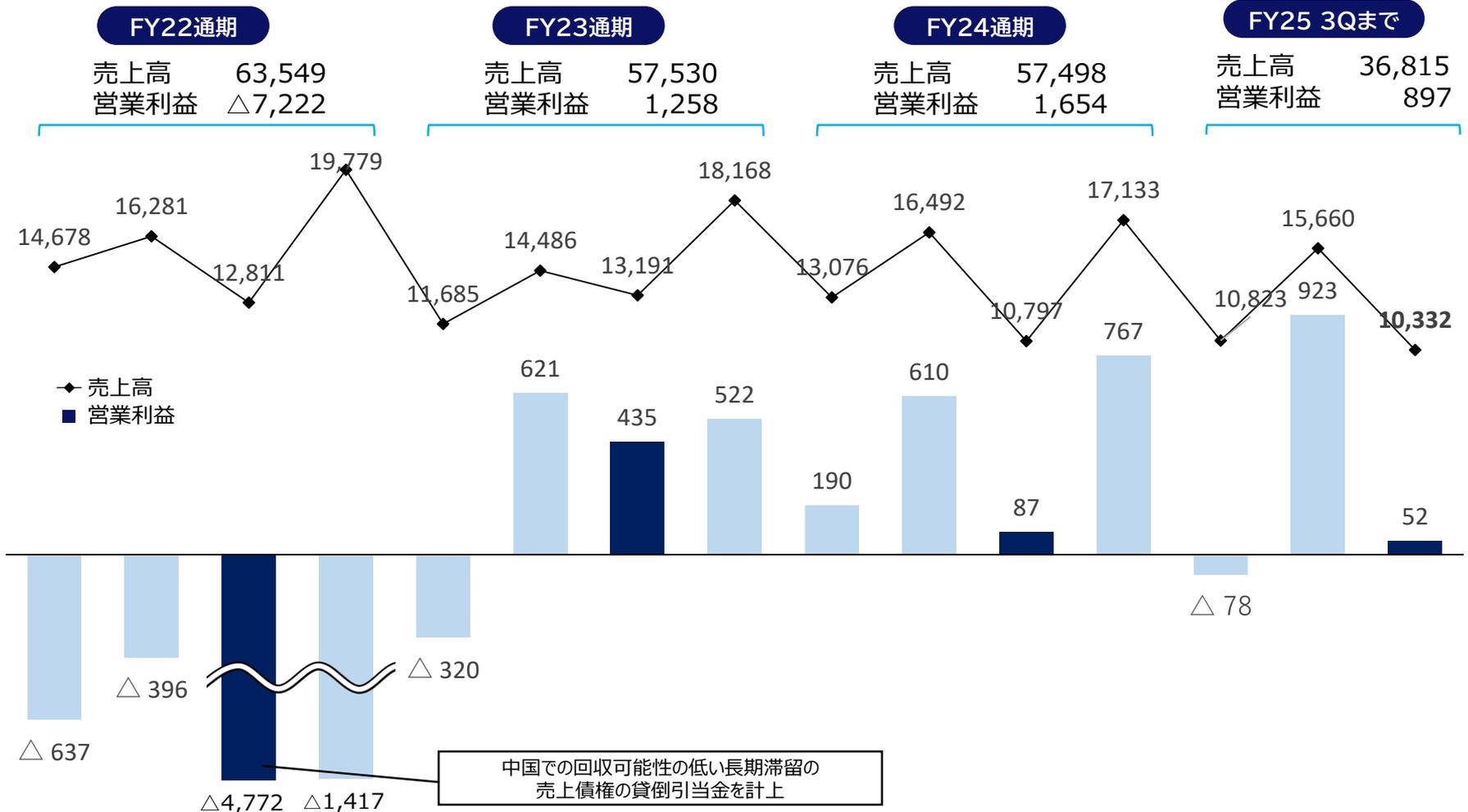
連結業績サマリー(四半期毎の売上高・営業利益)



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

✓ 季節性：2・4Qに販売が集中する傾向



FY22-1Q FY22-2Q FY22-3Q FY22-4Q FY23-1Q FY23-2Q FY23-3Q FY23-4Q FY24-1Q FY24-2Q FY24-3Q FY24-4Q FY25-1Q FY25-2Q FY25-3Q

連結損益計算書



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

	FY24-3Q		FY25-3Q		前年同期比	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
売上高	40,365	100.0%	36,815	100.0%	△ 3,549	△8.8%
売上原価	33,051	81.9%	30,316	82.3%	△ 2,734	△8.3%
売上総利益	7,314	18.1%	6,499	17.7%	△ 815	△11.1%
販管費	6,426	15.9%	5,601	15.2%	△ 825	△12.8%
営業利益	887	2.2%	897	2.4%	10	1.1%
営業外損益	840	2.1%	854	2.3%	13	1.6%
経常利益	1,728	4.3%	1,752	4.8%	23	1.4%
特別損益	1,377	3.4%	△ 6,509	△17.7%	△ 7,886	-
税前利益	3,106	7.7%	△ 4,756	△12.9%	△ 7,863	-
法人税等	330	0.8%	152	0.4%	△ 177	△53.8%
非支配株主当期純利益	△ 100	△0.3%	△ 77	△0.2%	23	-
親会社株主当期純利益	2,877	7.1%	△ 4,831	△13.1%	△ 7,708	-

✓ **売上高**：高価格帯の大型ラフテレーンクレーンの新型車販売の遅延や米国市場の大統領選挙前の需要減少などにより、当初想定を下回り減収

✓ **営業外損益**：一部サプライヤーからの受取補償金、為替差益、ホテル事業による受取賃貸料など

✓ **特別損益**：中国事業の見直しによる子会社整理損を2Qに計上

連結貸借対照表

(単位：百万円)

FY24-4Q
総資産105,330

FY25-3Q
総資産97,548(Δ7,781)

流動資産 82,814		流動負債 38,420	
・手許資金	22,566	・仕入債務	13,624
・売上債権	26,132	・短期借入金	20,906
・たな卸資産	35,521	・その他	3,887
・その他	Δ1,405		
固定資産 22,515		固定負債 15,358	
・有形固定資産	16,833	・長期借入金	14,780
・無形固定資産	706	・その他	576
・投資その他資産	4,976		
純資産 51,551			
・利益剰余金	34,431		
・評価換算差額等	5,977		
・その他	11,141		

流動資産 75,126		流動負債 37,070	
・手許資金	9,706	・仕入債務	13,425
・売上債権	15,183	・短期借入金	20,272
・たな卸資産	47,603	・その他	3,368
・その他	2,632		
固定資産 22,422		固定負債 14,489	
・有形固定資産	16,319	・長期借入金	14,219
・無形固定資産	1,095	・その他	268
・投資その他資産	5,006		
純資産 45,989			
・利益剰余金	28,662		
・評価換算差額等	6,172		
・その他	11,155		

✓**売上債権** ※
 ・日本 13,207 回転期間
 ・欧州 1,985 2Q:135.2日から
 ・中国 1,314 3Q:112.9日に改善

✓**たな卸資産** ※
 ・日本 42,641 回転期間
 ・欧州 3,336 2Q:291.7日から
 ・中国 1,757 3Q:353.9日に悪化

※連結修正前の参考数値であり
 貸借対照表の数値と一致いたしません

✓**資本効率**
 中国子会社2社の清算・解散に伴う、
 中国での在庫機の販売・売上債権回収
 は順調に推移
 一方、日本及び米国での需要減少により
 たな卸資産が増加

✓**利益剰余金**
 中国事業の子会社2社の
 解散・清算に伴う
 特別損失計上により減少

✓**純資産比率**
 47.2%と引き続き高い、
 純資産比率を維持

資産

負債・純資産

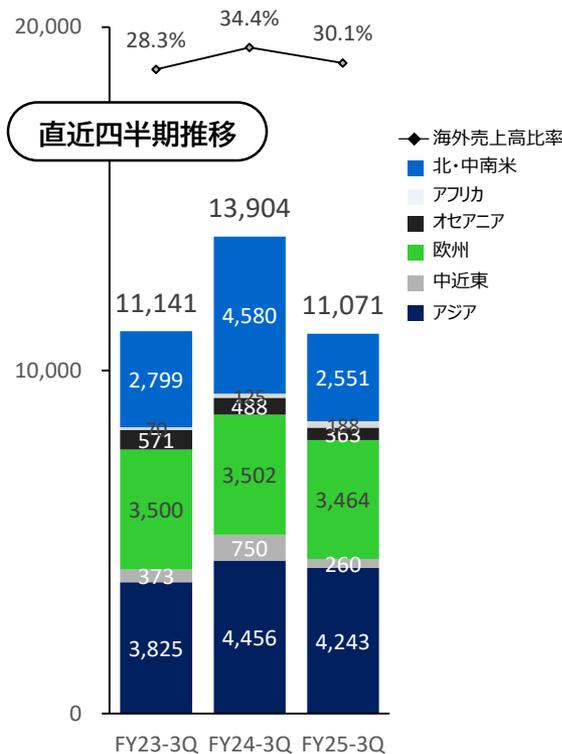
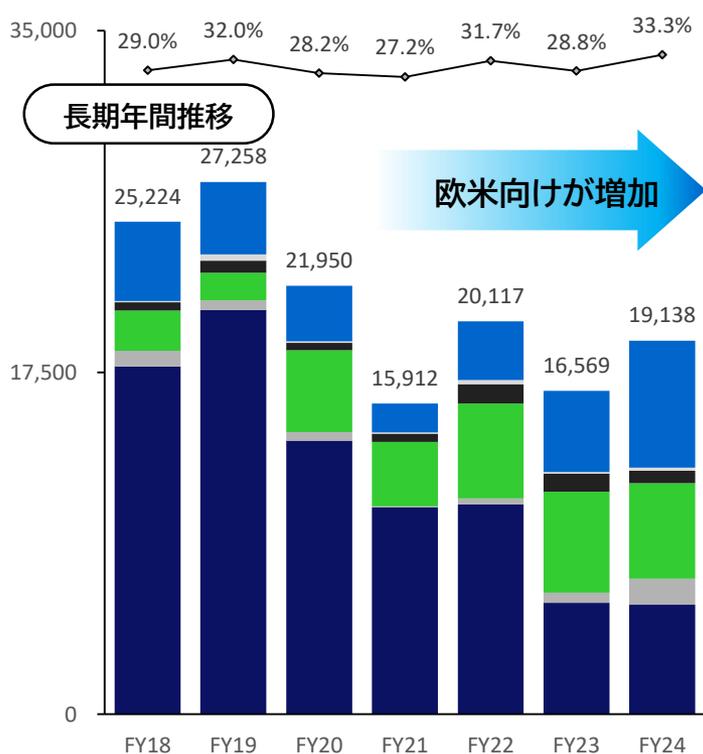
資産

負債・純資産

仕向け地別売上高推移(日本除く)

(単位：百万円)

	FY23-3Q		FY24-3Q		FY25-3Q		前年同期比		総売上高 構成比
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
アジア	3,825	34.3%	4,456	32.1%	4,243	38.3%	△ 213	△4.8%	11.5%
中近東	373	3.3%	750	5.4%	260	2.3%	△ 490	△65.3%	0.7%
欧州	3,500	31.4%	3,502	25.2%	3,464	31.3%	△ 37	△1.1%	9.4%
オセアニア	571	5.1%	488	3.5%	363	3.3%	△ 124	△25.5%	1.0%
アフリカ	70	0.6%	125	0.9%	188	1.7%	62	49.4%	0.5%
北・中南米	2,799	25.1%	4,580	32.9%	2,551	23.0%	△ 2,029	△44.3%	6.9%
海外売上高合計	11,141	100.0%	13,904	100.0%	11,071	100.0%	△ 2,832	△20.4%	30.1%



海外事業の変容 長期年間推移

▽アジアから欧米へシフト

主に中国向けの減収が続き、アジア向けの売上高比率は低下一方で、アメリカ向けや欧州向けに注力するなど、海外での売上高を確保

北・中南米

米国大統領選前の買い控えを受け予想以上の減収

欧州

景気減速ながらも日本からのウクライナ向け輸出大口販売を計上

アジア

中国での現地子会社2社の解散・清算手続きが進行し減収

主要品目別売上高推移



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)

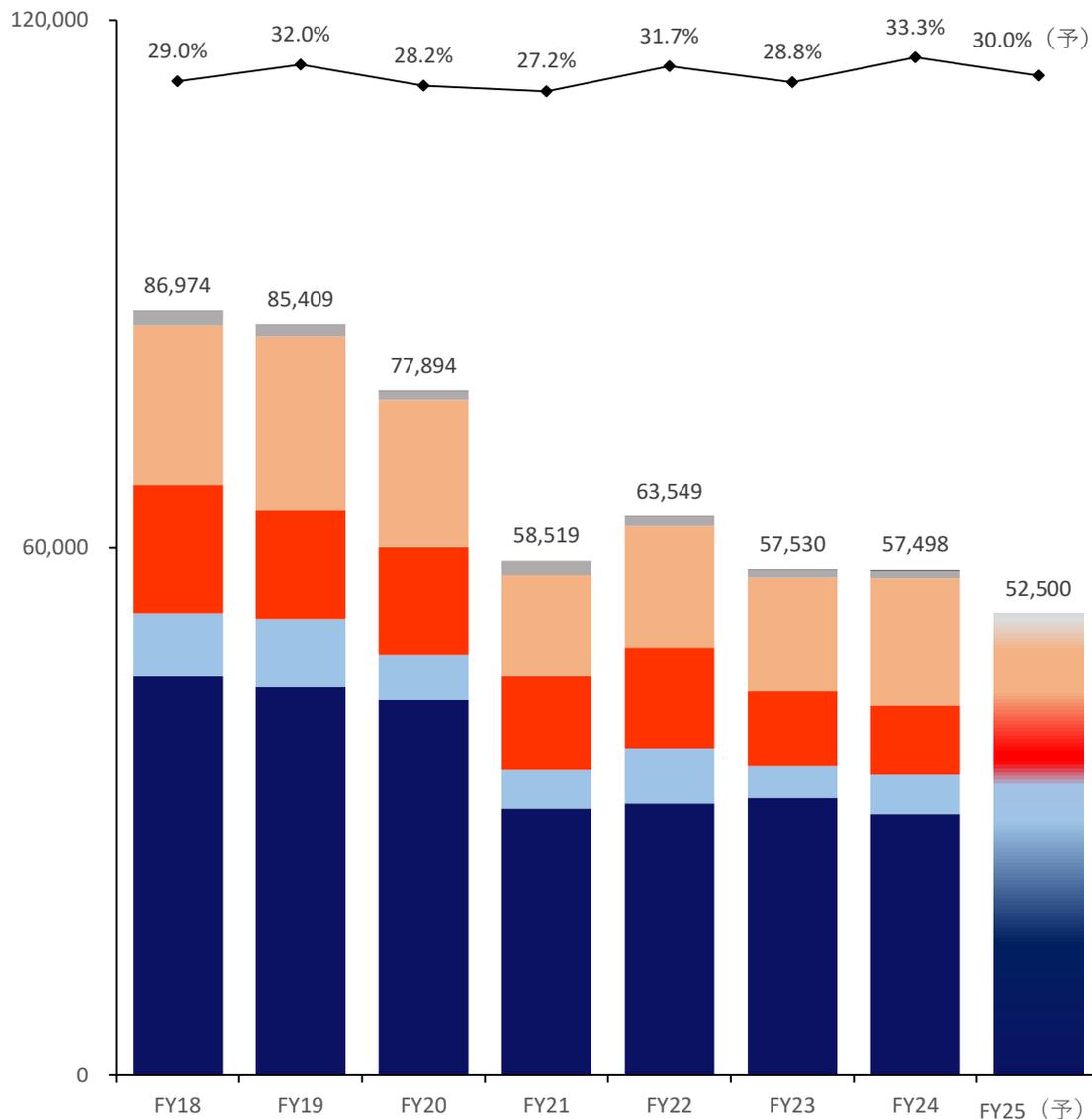
	FY23-3Q		FY24-3Q		FY25-3Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
建設用クレーン								
国内売上高	21,504	54.6%	20,106	49.8%	19,686	53.5%	△ 420	△2.1%
海外売上高	2,592	6.6%	3,593	8.9%	3,003	8.2%	△ 589	△16.4%
計	24,097	61.2%	23,700	58.7%	22,690	61.6%	△ 1,009	△4.3%
油圧ショベル等								
国内売上高	5,979	15.2%	5,743	14.2%	5,360	14.6%	△ 382	△6.7%
海外売上高	8,547	21.7%	10,264	25.4%	8,016	21.8%	△ 2,248	△21.9%
計	14,527	36.9%	16,007	39.7%	13,377	36.3%	△ 2,630	△16.4%
その他								
国内売上高	736	1.9%	611	1.5%	696	1.9%	85	14.0%
海外売上高	0	0.0%	46	0.1%	51	0.1%	4	10.6%
計	737	1.9%	657	1.6%	748	2.0%	90	13.8%
合計								
国内売上高合計	28,221	71.7%	26,460	65.6%	25,744	69.9%	△ 716	△2.7%
海外売上高合計	11,141	28.3%	13,904	34.4%	11,071	30.1%	△ 2,832	△20.4%
計	39,362	100.0%	40,365	100.0%	36,815	100.0%	△ 3,549	△8.8%

主要品目別売上高推移



進化の奥の更なる真価へ

(単位：百万円)



建設用クレーン

国内：日本市場の需要減少や高価格帯の大型ラフテレーンクレーンの新型車販売の遅延などにより減収

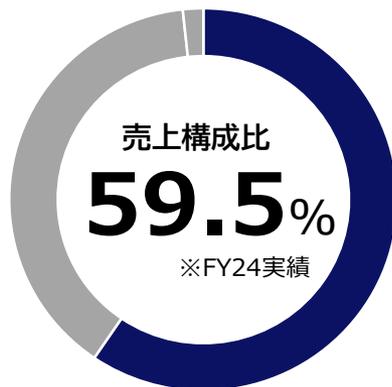
海外：前期に計上していた東南アジア向けの大口販売が今期は発生せず

油圧ショベル等

国内：利益率を重視した販売戦略の維持と需要減少により減収

海外：米国市場における大統領選挙による買い控え、欧州市場の急速な需要低迷などにより減収

建設用クレーン



ラインナップ

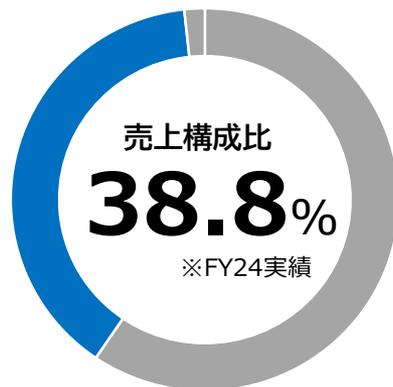


- ✓ラフテレーンクレーン ※車両運転席クレーン操縦席一体型
- ✓オールテレーンクレーン ※車両運転席クレーン操縦席分離型
- ✓クローラクレーン
など幅広い移動式建設用クレーンを製造・販売

用途

- ✓インフラ、ビル、住宅の建設現場などで使用

油圧ショベル等



油圧ショベル

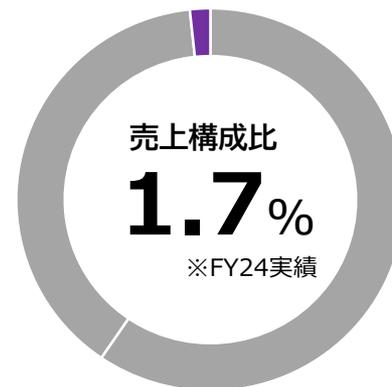


- ✓ミニショベル(車両重量0.9~10t)
- ✓中大型ショベル(車両重量8~50t)
まで幅広く製造・販売
- ✓建設地の造成や建築物の解体などに使用

クローラキャリア



その他



路面清掃車



万能吸引車



スノースイーパー



- ✓販売先は公的機関や空港など
売上構成比は低いものの、競合少なく
幅広い特装車を製造・販売

FY25通期連結業績予想の修正



進化の奥の更なる真価へ

- ✓ 最近の業績動向を踏まえ、2024年11月8日に公表した 2025年 3 月期通期の連結業績予想および為替予想を以下のとおり修正
- ✓ 期初から中期経営計画に基づく増収を計画し、増産体制を強化してきたものの、日本市場においては高価格帯の大型ラフテレーンクレーンの新型車販売の遅延に加え、世界市場全体の中古車価格低下に伴う買い替え需要の減少、建設工事に関わる人材不足による建機需要の伸び悩みなど厳しい販売環境が継続
海外市場は、米国市場における大統領選挙による買い控え、欧州市場の急速な需要低迷などにより2024年11月8日に公表した売上高615億円の業績予想からは大幅な減収見通し
- ✓ 営業利益は利益率を重視した販売戦略を継続したことと、生産効率改善策が奏功し、前回予想と同水準
経常利益は受取補償金やホテル事業の好調もあり、前回予想から上方修正
当期利益は、前回予想と同水準

売上高

61,500 → 52,500

前年同期 57,498 (△8.7%)

(単位：百万円)

営業利益

1,500 → 1,500

前年同期 1,654 (△9.3%)

為替レート	FY25	
	上期	下期
USD / JPY	135.0	140.0 → 150.0
CNY / JPY	22.0	19.0 → 20.0
EUR / JPY	150.0	155.0 → 155.0

経常利益

1,600 → 2,100

前年同期 2,575 (△18.5%)

親会社株主
当期純利益

△4,200 → △4,200

前年同期 4,235 (-%)

TOPICS

1

75t吊りラフテレーンクレーン[※] 「SL-750RfⅢ」販売開始

※車両運転席クレーン操縦席一体型



※イメージ

- **特長**
 - ★最新の排出ガス規制（欧州Stage V）に適合したカミンス製エンジンを新搭載
 - ★坂道発進補助装置を新規標準装備
- **希望販売価格**
¥93,000,000(税別)より
- **発売日**
2025年4月
- **販売目標**
50台 / 1年

※2025年2月3日プレスリリース

TOPICS

2

130t吊りオールテレーンクレーン 「KA-1300R」販売開始[※]

※車両運転席クレーン操縦席分離型



※イメージ

■ 特長

- ★キャリヤエンジンに最新の排出ガス規制（欧州Stage V）に適合したDaimler製エンジンを新搭載
- ★側方衝突警報装置を新規標準装備
- ★国土交通省「低騒音型建設機械」の指定を取得

■ 希望販売価格

¥180,000,000(税別)より

■ 発売日

2025年1月

■ 販売目標

20台 / 1年

※2025年1月20日プレスリリース

The KATO logo is displayed in white, bold, uppercase letters on a dark blue rectangular background.

株式
会社

加藤製作所

お問い合わせ先
コーポレートコミュニケーション部
〒140-0011 東京都品川区東大井1-9-37
E-Mail : ir-kato@kato-works.co.jp

注意事項

本資料に記載されている現在の計画や今後の見通しに関する内容につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて、計画・予想したものであります。

実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。そのため、本資料におきましては、その実現を確約あるいは保証するものではありません。

進化の奥の更なる真価へ